

東日本大震災を踏まえた取組の全体像

東日本大震災(3.11)の甚大な被害

東日本大震災による影響を踏まえ「いのちを守る小田原の実現」という視点に立って、緊急的な対策と中長期的な取組を検討し、総合的な施策を機動的に講じるための情報共有の場として「いのちを守る小田原」推進会議を設置します。

※ 設置期間は23年度末までを目途とする。

(取組の柱)

災害対策の強化

安心した暮らしを実現するための災害対策を進めます。
東日本大震災における甚大な被害など踏まえ、大規模災害から市民の生命を守り、また、災害発生後の暮らしや仕事への影響を最小限に食い止めるための災害対策を強化します。

持続可能な暮らしの実現

大震災を踏まえた経済対策やエネルギー対策を進めます。
また、いのちの安心や暮らしの豊かさにつながる平常時の地域づくりを着実に進め、より確かな災害対策につなげます。

被災地・被災者支援

被災地・被災者への支援を進めます。
支援活動は、内容的にも多岐にわたり、長期化が想定されることから、各種支援活動の対外窓口を明確化するとともに、支援活動に意欲的に取組む市民団体や民間事業者などとの連携も進めます。

※ 取組内容に応じて部会を設置

「いのちを守る小田原の実現」へ

主な取組の概要

災害対策の強化

(総括:防災部)

➤ 地域防災計画の全面改訂

本市の地域防災計画(平成17年度最終改訂)を、今年度、総合的に見直します。災害対策に係る最新の教訓等を盛り込んだ実践的で使いやすい計画にしていきます。

➤ 津波被害対策

神奈川県津波浸水予測成果を待たずに取組むべく、地域と協力して緊急避難可能場所を選定するなど、津波被害対策に向けた検討を進めています。

➤ 大規模災害を想定した広域連携の検討

持続可能な 暮らしの実現

(総括:企画部・経済部・環境部)

➤ 地域経済対策

中小企業の資金繰りの円滑化を図るための信用保証料補助金の上限額引き上げや、商業活性化に向け、関係機関と連携したイベントの開催やプレミアム商品券事業を実施していきます。

➤ 全市をあげた節電対策

市民、事業者と連携し、15%節電に向けた取組を進めます。市役所では、クールビズ実施の前倒しや各施設での節電対策に取り組みます。また、グリーンカーテンを推奨するために苗の配布を行います。

➤ 放射性物質の影響対策

関係機関との連携のもと放射性物質の状況等を的確に把握し情報発信していきます。また、農産物等への影響、消費対策なども合わせて関係機関と連携して進めていきます。

➤ 可能な限りの再生可能エネルギーへの転換の検討

被災地・被災者支援

(総括:企画部)

➤ 被災地への人的支援

小田原市社会福祉協議会と小田原市が連携した市民ボランティア派遣(平成23年5月10日～6月27日、相馬市)や、被災地の復興に向けた職員派遣を進めています。

➤ 震災孤児等への募金の呼びかけ

郷土の偉人・二宮尊徳の縁で交流のある相馬市の震災孤児等を支援するため、基金への募金を募集(平成23年5月2日～平成24年3月31日)しています。今後、尊徳にゆかりのある自治体との連携を検討していきます。

➤ 小中学校間の交流事業

心のケアの一環として、本市と被災地の小中学校の子ども達の間で手紙のやりとりなど交流を進めます。

「いのちを守る小田原の実現」に向けた取組の考え方

東日本大震災

東日本大震災の影響等の対応を進めるとともに、大規模災害時に市民の生命を守り、暮らしや仕事への影響を最小限に食い止めるための取組を検討

より豊かで持続可能な暮らしを目指した新総合計画「おだわらTRYプラン」の着実な推進

災害対策

被災地・被災者支援

震災時に生きていくうえで必要な要素(水、エネルギー、ケア、コミュニティなど)がより安全でより確かに確保されている状態を日々の暮らしのなかでつくっていく

【取り組み例】
おだわらTRYプランにおける先導的施策「自然環境を再生する」「地域のつながりを再生する」など

「いのちを守る小田原」推進会議

市長をトップとし、副市長、教育長、病院長、全部局長で構成
※必要に応じて部会を設置

より確かな災害対策へ

いのちを守る小田原の実現